

第3学年 特別活動（防災学習）学習指導案

平成24年12月5日（水）第5校時

児童数 3年 34名（男子14名、女子20名）

指導者 3年担任 谷岡 園巳

児童支援 五十嵐 彰英

1. 題材 その時、あなたは（避難方法を考える）

2. 題材について

学習指導要領では、学級活動（2）ーカ「心身ともに健康で安全な生活態度の形成」において、「安全指導として、『防犯を含めた身の回りの安全、交通安全、防災など、自分や他の生命を尊重し、危険を予測し、事前に備えるなど日常生活を安全に保つために必要な事柄を理解し、進んで決まりを守り、危険を回避し、安全に行動できる能力や態度を育成する』必要性が述べられている。そこで、近い将来に起こるであろうと言われている南海地震に備え、いついかなる時でも自らの命を守ることができるよう本題材を設定した。子どもたちは、学校にいるときには避難訓練を通して安全に避難することを学習している。これからは、登下校時や遊んでいる時等の避難場所や方法を確認する必要がある。そこで、避難マップを作ることを通して、いざという時に慌てず冷静に判断し行動する力を身に付けさせたいと考えている。

本学級の児童は、明るく元気で何事にも前向きに取り組む。これまで何度も避難訓練を経験しているせいか、先日休み時間の避難訓練においても、運動場の中央に集まり、静かに待機することができた。危険回避の意識は十分高まってきていると思うが、自分一人の時に冷静な判断や行動ができるかどうかは不安である。

そこで指導にあたっては、家庭や地域ごとのグループで、その場に応じた避難のしかたを話し合わせ、確認していくことで、一人でも適切に行動できる力を付けていきたい。本時は、学校や家庭以外で地震が起こった時の避難方法について、地域ごとのグループで話し合わせ、友だちにしっかりと伝わるように説明するようにさせたい。

3. 目標 どんな時でも安全に避難する方法を考える。（推進の視点A）

4. 評価規準

集団活動や生活への 関心・意欲・態度	集団の一員としての 思考・判断・実践	集団活動や生活についての 知識・理解
・自分の住む地域の特徴を捉え、地震や津波が起きたときの適切な避難経路について考えようとしている。	・地震や津波が起きたときの安全な避難経路を考えている。	・地震や津波が起きたときの安全な避難経路を知る。

5. 指導計画（全2時間 本時 2/2）

時間	学習活動	学習内容	評価（方法）
学校行事	・家族と一緒に避難訓練	・家から家族と一緒に指定避難場所へ避難して、避難経路と避難時間を知る。	・地震や津波が起きたときの家から指定避難場所への安全な避難経路と避難時間を知る。 【知識・理解】（感想文）
第1時	・地震が起こった時の家からの正しい避難経路について考える。	・避難訓練をふりかえり、家に居る時に地震が起こった場合の避難経路を考える。	・自分の住む地域の特徴を捉え、地震や津波が起きたときの家から指定避難場所への適切な避難経路について考えようとしている。 【関心・意欲・態度】（発表）
第2時 （本時）	・地震が起こった時の学校や家以外の場所からの正しい避難経路について考える。	・学校や家以外の場所で地震が起こった場合の避難経路について考える。	・学校や家以外の場所で地震や津波が起きたときの安全な避難経路を考えている。 【思考・判断・実践】（ワークシート） ・学校や家以外の場所で地震や津波が起きたときの安全な避難経路を知る。 【知識・理解】（ワークシート）
放課後	・通学路からの避難	・通学路を通りながら、避難経路を確認する。	・学校や家以外の場所で地震や津波が起きたときの安全な避難経路を確認する。 【知識・理解】（感想文）

6. 本時の指導

- (1) ねらい 学校や家以外の場所で地震が起こった時の安全に避難する経路を考える。
（推進の視点A）

- (2) 準備物 拡大マップ，児童用マップ，ワークシート

(3) 展開

学習活動	指導上の留意点	評価（方法）
1. 家に居る時の避難場所を確認する。	・「家族と一緒に避難訓練」の ときのことや前時の学習を 思い出させる。	
どんな時でも、安全に避難できるようにしよう。		
2. 登下校中や遊んでいる 時の避難経路を考える。 ・自分がいつも遊んでいる 場所や習い事などで日 常的に行動している範 囲を考える。 ・自分がいる場所ごとに避 難経路を色分けして、自 分のマップに記入する。	・自分のいる場所から一番近 い避難場所を見つけ、場所 ごとに色分けをしながら自 分の避難経路をマップに書 き込むように指示する。	
3. グループごとに避難経 路を話し合う。 ・地域ごとに4つのグルー プに分かれ、どこにどの 道を通って避難したら よいのかを自分の考え をもとに話し合う。	・それぞれが考えた避難経路 をもとに話し合うように助 言する。 ・違う意見が出た時には、ど ちらがよいか話し合って決 めるように助言する。	・学校や家以外の場所で地震や 津波が起きたときの安全な 避難経路を考えている。 【思考・判断・実践】 (ワークシート)
4. 話し合ったことをグル ープごとに代表が発表 する。 ・自分たちが参考になるこ とをメモしながら聞く。	・他のグループに伝わるよう に説明するように指示す る。	
5. 話し合ったことをもと に自分の避難経路を確 認する。	・全体の協議で学んだことを ふまえて振り返るように助 言する。	・学校や家以外の場所で地震や 津波が起きたときの安全な 避難経路を知る。 【知識・理解】 (ワークシート)